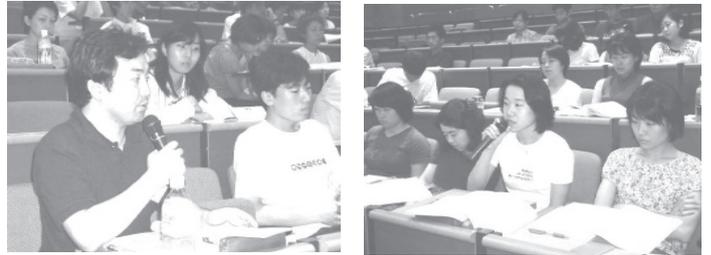


## 「夏の学校 1999」に全国から多数が参加！

8月9日～11日、西山文庫主催の若い世代を対象にした、「夏の学校」に実践女子大学、近畿大学、京都府立大学、福井大学、奈良女子大学、熊本県立大学、大阪教育大学、名城大学、平安女学院短期大学など全国から学生・院生80人、また講師・幹事20人が参加しました。積水ハウス総合住宅研究所の大ホールが主な会場です。住宅計画研究や建築計画学の歴史的成果を理論的・実践的にじっくり学び、これからの21世紀における新しい計画理論を展望する気持ちを養ってほしいと企画されたものです。

参加数は始めの予想を大きく越え、カリキュラムも講義、納得工房見学、団地見学調査とワークショップ、研究発表、交流パーティと盛りだくさんの内容で、充実した三日間になりました。講義も近代計画学、西山理論、コーポラティブ住宅、阪神大地震と住宅復興・都市計画と多岐にわたりました。



＜「夏の学校」講義での質問風景＞

### ＜第一日目 8/9月＞

全体オリエンテーションの後、積水ハウス納得工房の見学をしました。続いて、

■第1講義、「近代計画学の成立と西山理論」  
広原盛明文庫運営委員長（前京都府立大学学長）

■第2講義、「近代計画学の展開とその限界」  
内田雄造東洋大学教授、2講義でした。

夕食はパーティ形式、全国各地から集まった若人の交流の場になり、楽しめたようでした。

### ＜第二日目 8/10火＞

■第3講義、延藤安弘千葉大学教授からの「集って住む—コーポラティブ住宅の実践」の話は、2台のスライドを使った独特の講義で、印象に残ったようです。「コーポラティブ住宅に是非、暮らしてみたい。」と思った人もありました。

午後、香里団地へは2台のバスで移動。バスの中で、三村浩史先生と西村一朗先生の香里団地解説等がありました。香里団地は昭和31年京都大学西山研究室で計画を進めた団地です。

現地でも2つの講義がありました。

■第4-I講義、「初期住宅ニュータウン・香里団地」三村浩史関西福祉大学教授（京都大学名誉教授）

■第4-II講義、「香里団地建替事業全体概要」  
五島信明住宅・都市整備公団関西支社、住宅市街地部建築課長、でした。

その後、団地を8班に分かれた班単位で、インストラクターの講師の先生方の示唆を受けながら独自の目を養うため調査見学をしました。

再び会場に戻って、海道講師の指導により地下の大空間で、まとめのワークショップが開始されました。夕食後も、香里団地見学のミーティング

## 西山文庫第四回総会および

### NPO設立総会を開催

8月末現在、会員登録は360人を越えました。

昨年の総会で承認された活動方針にもとづき運営委員会では、住宅営団資料復刻研究会、21世紀を展望した住まいと家族の未来研究会、積水ハウスとの交流研究会を定期的で開催し、また会報発行や全資料のデータベース化などをすすめてきました。この間の活動報告をし、また西山文庫のNPO（特定非営利活動法人）申請にともなう定款、役員、事業計画案など新しい段階の活動方針についてもご審議をいただきます。

総会終了後、NPO設立総会記念パーティを予定しています。

日時：1999年9月4日（土）14：00から

場所：西山記念すまい・まちづくり文庫

会場：積水ハウス総住研 3階会議室

記念パーティは「あわさい」